



広報

いせん

No.304

全世帯配布 編集・発行 伊仙町役場 企画課

〒891-8293 鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842 TEL 0997(86)3111 FAX 0997(86)2301

URL <http://www.town.isen.kagoshima.jp/>

2013年(平成25年)5月号

伊仙町立小中学校入学式



へき地保育所合同入園式



第46回 戦艦大和を旗艦とする 特攻艦隊戦没将士慰霊祭

今月の主な内容

平成25年度伊仙町施政方針…	2-5
まちの話題……………	6-9
おしらせ……………	10-14
伊仙町の伝統文化……………	15
わが町のアイドル・戸籍の窓…	16

主な行事予定 (5月・6月)

5月12日	母の日の集い
5月18日	町スポーツ少年団大会
5月19日	クリーン作戦
5月25日	町スポーツ少年団大会
6月16日	クリーン作戦
6月23日	トライアスロンin徳之島

平成25年度 伊仙町施政方針

はじめに

まずはじめに、去年の台風災害によるキビの被害、馬鈴薯の価格低迷で収入減になっている町民の皆様に対し、お見舞い申し上げます。

平成25年第一回伊仙町議会定例会の開催にあたり、施政方針を述べていきます。

今年は、昭和28年12月25日、奄美群島が米軍統治下から祖国日本復帰し、60周年という記念すべき年にあたります。復帰以来、数々の奄美群島復興・振興事業で社会資本インフラ整備により、島々は発展を遂げてまいりました。

60年間で2.2兆円を投じた奄振事業も本年度で期限切れを迎え、次期奄振へ向け、島毎の意向を重視した形で主体的に奄美の将来像を描いた「奄美群島成長戦略ビジョン」の策定が先月決定しました。

政権交代により、奄振開発関係予算も24年度補正予算と25年度予算の合計が280億円と復元しました。今後、重要なことは、この予算を島々の発展のために最大限に有効活用する知恵と戦略が問われることとなります。

昨年は、町制施行50周年記念式典・徳之島なくさみ館のこけら落とし・闘牛大会にチャーター便などで500人有余の郷友会の方々を含め、多くの町民が参加し、職員もかりゆしウエアでもてなしの精神を発揮し、歴史的交流を実現しました。特に、安栖宏隆前国土交通省国土政策局特別地域振興官の奄美への提言は示唆に富み、報道でも高く評価されています。伊仙町民がカムイヤキの時代から育んできた独立心の強い誇り高い独立不羈の精神は、時代を超えて今よみがえり、町民に大きな自信を与えました。

復帰後60年間に多くの先輩たちが艱難辛苦にも負けず、町の発展に心血を注いできたことに深く感謝と敬意を申し上げますと共に、戦後の復興から取り残された奄美群島は、奄美群島復興・振興開発事業により、道路、港湾、学校などの社会インフラ整備がなされてきたのにもかかわらず、人口が半減した結果を重く受けとめ、その要因を分析し歯止めをかけることが最大の課題です。

伊仙町は、激しい政争の町という印象が強く、そのことが、町の順調な発展を阻害してきました。しかし、今はその反省を踏まえ、町民が心をひとつに一致団結し、次の世代のために「誰もが住んでみたい」と思う魅力ある誇り高い町にしていかなければなりません。

伊仙町の「熱い」町民性は、時に激しく対立しがちですが、

逆にまとまり、方向性が定まるとどこよりも力強く前進していきます。

そのため、職員は国・県に対し具体的政策を自ら提案し、交渉する知恵と能力を育成することが必要で、更に全町民の生活の安定のために「株式会社 伊仙町」のリーダーとしての自覚を持ち働くことが要求されています。

「地域力」とは、地域がその特徴ある自然・農業・文化・伝統などに自信を持ち、全員が協働でそれを「宝」に磨き上げる作業です。長寿・子宝・闘牛は、まさに伊仙町の地域力が生んだ宝です。

議会と職員が中心となり、各種団体・民間組織・NPOなど全町民が社員である「株式会社 伊仙町」がこれらの宝を生かす強い意志と戦略をかかげ、政策を推進していけば、この町は急速な少子高齢化に対応しなければならぬ日本社会のモデル地区になる最短距離にあります。

奄美・琉球の世界自然遺産登録については、環境省が1月13日、奄美・琉球の暫定リストをユネスコ世界遺産センターへ提出、平成25年度中に奄美群島国立公園の指定を行い、平成28年度世界自然遺産登録を目指すことになり、市町村の連携が必要になってきました。

このような中、徳之島三町では、徳之島愛ランド広域連合の役割がますます重要になります。現在、火葬場・食肉センター・クリーンセンター等の運営を行っていますが、将来的には、給食センター・観光協会・介護協会・消防協会・医師看護師対策会議なども広域連合に含めていくことが島の発展に繋がっていきます。

3年前、米軍普天間基地移設で徳之島案が報道されたとき、未来の世代のために三町民が一致団結しました。

島の自然・文化・農業を守ることが、今の我々に課された使命であるという強い意志で、1万5千人集会を開き、断固反対を貫きました。

この時改めて「島は一つ」であることを確信しました。未来のため、永遠にこの島を守っていくことが我々に課せられた責任です。

「自立」「挑戦」「交流」をキーワードに「共に創る躍進する輝く伊仙町」をスローガンに100項目のマニフェストを政策の目標に掲げ、町民総参加型の町政に全力で取り組み、着実に実現しつつあります。

徳之島なくさみ館については、徳之島の伝統行事「闘牛」や、町指定文化財「目手久八月踊り」に「島唄」など特徴的なオンリーワンの魅力ある伝統文化の保存継承を行うと共に、全国に発信することで交流人口から定住人口の増加に繋がっていくために、ほーらい館・百菜とともに、島の交流の中心として発展させていくこととなります。

以上の観点を踏まえ、主要施策を述べていきます。

1 徳之島交流ひろば「ほーらい館」及び直売所「百菜」について

健康増進・交流・憩いの場を醸成・6次産業の中核拠点

徳之島交流ひろば「ほーらい館」は、健康増進・交流・憩いの場としての利用促進を図り、各種行事等を開催、島民の様々な需要に添えています。開館4年が経過し、昨年9月には利用者が延べ50万人を突破し運営も安定してきました。

また、民間活力を生かした指定管理者制度の導入目的で公募を行い審査しましたが、条件が合わず結果的に断念という形になりました。

今後も引き続き、導入に向け努力しながら島民の健康増進を推進していきます。

さらに、放課後わくわくクラブやジュニアスイミング教室などを学童保育として位置付け子育て支援を行い、就労支援及び定住促進に繋がっていきます。

今後もニーズに応えるため施設の運用方法の改善や魅力ある教室の開設を実践し、保健センターと連携した福祉施策を推進することで、「健康・長寿と子宝の町」のシンボルとなる「ほーらい館」を目指します。

直売所「百菜」は開館4年目を迎え、委託販売と自主製造販売の部門に分かれ、委託販売の生産者は231戸におよび着々と増加しています。年間売上は、平成23年度1億2千5百万円と順調に増加し、平成24年度は、JAC機内広告を勝ち取った「徳之島まるごときゅつきゅつ便」をスタートさせ島外への販売・発信を行っています。

地産地消の推進では、地場産振興の実績が認められ、県から高い評価を得て、かごしま・食・推進活動大賞受賞という快挙を成し遂げました。また、給食センターや病院、老人ホームなどへの食料提供などが地元では評価されています。

さらには、農林水産物にこだわらず、地元写真家の写真販売や農業・奄美群島に関連する書籍の販売など、文化的側面を施設内に併設し、レストランとともに観光客など多様な客層の興味を惹き島内一の交流の場となっています。

直売所単体の1日平均来客数は約280人と増加傾向にあります。併設されている健康増進施設「ほーらい館」においては平均450人以上の方々がプール・ジムのトレーニング施設やサウナなどの温浴施設の利用に訪れています。当初の目的通り健康増進を「運動と食」

の面から支えるという目標が着々と達成されている状況にあります。

保健センターの10年間の取り組みも国内的に評価され、ほーらい館と共に町の保健センターとの共同プロジェクトで食だけでなく、健康づくりの仕掛けをこれからも作り上げ実施していきます。



町が推進している6次産業化の拠点として、商品開発、島外への販路開拓、「徳之島まるごときゅっきゅっ便」の更なる充実などを図り、農家所得の向上へと繋げていきます。今後は、自社の加工品開発と通信部門の増強が経営のキーワードとなります。

2 福祉行政について

福祉サービス・子育て支援の充実・健康指導による医療費の抑制

福祉事業は、昨年策定された平成24年度から26年度までの伊仙町高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき推進しています。

必要なサービス量確保のために健全運営に努力し、医療費適正化の取り組みも進め健康なまちづくりに努力します。

高齢者福祉は、老人クラブ連合会、ゲートボール協会補助の中で、「地域支え合い事業」「高齢者元気度アップ事業」、NPOいせん1・1による「伊仙町シルバー人材センター」の運営助成を行います。

介護保険事業は、地域包括支援センターを中心に予防重視型サービスへと移行し、特別養護老人ホーム「仙寿の里」の16床増床や地域密着型サービスの施設整備が充実したことや後期高齢者の人口割合が高くなること等により介護給付費が増加し、財政運営もますます厳しくなるものと予想されます。

これらを踏まえ、本年度も地域支援事業における介護予防事業として、「ほーらい館」で「うりたわつきや教室」、各集落での社会福祉協議会委託の「地域さわやかサロン教室」、徳之島福祉会委託の「いっちもれ教室」で高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる施策を推進していきます。

また、独居老人や高齢者の方々が生きがいを持ち、安心して生活できるよう、各種福祉事業サービスの充実を図り、「地域包括支援センター」では、高齢者や家族の相談に対応できるように万全を期しています。

後期高齢者医療保険制度は平成25年度まで継続され、医療保険以外の事業計画としては、7月に実施している長寿健診のほか、特別調整交付金による健康教室の開催も検討します。

子育て支援は、出産児を祝福し、次代を担う子どもの健全な成長を願い、児童福祉の向上を目的とした「子育て支援金」の支給を引き続き行います。

かごしま子育て支援バスポート事業は、協力企業の参加を進め、子育て世帯の利用促進を図っていきます。

次に障がい者福祉政策は、障がい者の方が地域で安心して暮らせる社会を目指し、昨年3月に障がい者計画及び第3期障がい福祉計画を策定し、必要なサービスを提供できるよう、制度上の課題を解決し、平等なサービスが提供できるよう、尚一層障がい者自立への意識改革及び仕組みづくりに積極的に取り組んでいきます。

平成23年4月から腎臓機能疾患者の腎臓移植術及び腎臓移植後の免疫抑制療法等の治療を受けるための経済的負担軽減に努めています。

国民健康保険財政政策については、国保中央会で給付費は国が7割持つのが当然と主張しているように、運営自体に構造的脆弱さがあり、当町においても毎年一般会計から繰り入れが行われ、厳しい状況下にあります。

一般会計からの繰入額は平成23年度1億3千万円、24年度9千4百万円を予定しており、25年度においては対前年度当初予算比のマイナス34%の1億1千万円の繰り入れとなっておりです。

国民健康保険特別会計においては、定率負担の引き上げによる公費負担の拡大など、引き続き国保の抜本改革実施を全国知事会で国に要望しています。景気の悪化による国保税収の減少や高齢化で医療費が伸び続ける一方、収入が低迷するなど、市町村国保財政は厳しさを増す一方です。

この状況を踏まえ、国民健康保険財政の安定化、健康指導等による医療費の適正化を図るため、保健センターを中心に医療・福祉・保健・介護を一体的に捉え、健康保持・増進を啓発できる特別対策事業を積極的に導入し、長期的な医療費抑制につながる事業を展開します。

3 保健センターの運営について

健康づくりに地域力を生かし、ダイエットアイランド構想の実現化に向けて

10年間推進してきた「健康長寿いせん21」計画の見直しを行い、今年度から「第2次健康長寿いせん21」計画を進めていきます。

取組の中で、早世の割合が非常に高く、長寿のまちに警鐘を鳴らしてきた結果、前回よりも改善してきました。しかし、まだ全国平均には至っていない状況です。第2次計画では早世を払拭し、本来あるべき健康長寿のまちを構築していかねばなりません。

そのためにも特定健診の受診者をさらに増やし、発症前の病氣予防が重要で、がん検診も同様であり、30代から検診を受け、生活習慣を見直し、元気に子育てができるよう、特に若年者の健康づくり支援に力を入れていきます。

また、これまでの健康増進の取組や直売所「百菜」を拠点に進めてきた食育を推進し、食からの健康づくりをさらに強化します。

強化策として、様々な島独特の体験活動と科学的な裏付けのあるプログラムにより、島内外から肥満で悩んでいる人、かつ、ダイエットに挑戦する人を徳之島に来島させ、他地域にないダイエットプログラムを用意し、産業化まで見据えた健康プログラムを発信していきます。

取り組みのトップとして2月24日に本物の長寿を取り戻す

ため、もくもく手づくりファームと連携し、「長寿の島からダイエットアイランドへ」シンポジウムを開催し、モニターツアーを実践していきます。

子育て支援についても、ここ2・3年出生数も増えていますが、安心して地域で子育てができるようにまた、障がいを負ったお子さんやそのご家族への支援、精神障がい者や身体に障がいがある方など、身近でサポートしていきます。

あわせて心の問題で不眠やストレスに悩む方々を対象に、健診時にスクリーニングを実施し、カウンセリングで心の病気に対するケアに力を入れていきます。

4 建設公共土木事業・町営住宅の整備について

防災対策、町道整備の推進・環境に優しい本格木造住宅の建設

昨年は稀に見る強い台風が立て続けに襲来し、町道・町営住宅等にも多大な被害をもたらしました。

厳しい財政状況の中、緊急の為やむを得ず基金を取り崩し災害復旧工事を進めました。

今後はこの教訓を生かし、町道及び町営住宅の維持管理の防災対策を計画的に実施し、台風や集中豪雨・地震等の災害を最小限に抑えます。

社会資本整備交付金事業により平成18年度から進めている伊仙・馬根線について昨年度用地交渉の関係で馬根側の義名山公園付近の工事を先に行いました。今年度は昨年整備予定の役場前・JAあまみ伊仙支所間の整備を行います。

平成22年度から始めた徳之島愛ランドクリーンセンターへのアクセス道路「第二西下線」は平成24年度にクリーンセンター入り口まで整備し、今年度も引き続き農農農道面縄地区へ向け整備します。

住宅不足の解消の為、住宅建築計画「伊仙町住宅マスタープラン」に基づき、平成23年度には耐久性の向上、遮音機能・耐火性能の確保、構造計算、コスト削減、家賃の低減、環境への配慮等の検討を行った木造住宅を基本とする、新しい住宅建築計画「伊仙町公営住宅等長寿命化計画」に移行しました。

平成23年度に犬田布田地2棟14戸を整備、平成24年度は河内団地1棟6戸を建設中です。平成25年度は木之香団地1棟6戸の建築をします。しかし、待機者が多く、今後も同計画に基づき、住宅不足の解消に取り組んでいきます。

平成22年度から都市公園整備事業により義名山公園整備及び体育施設の整備中です。平成25年度は、社会資本整備交付金事業における「特定地区公園事業」へ移行し、平成25年度は県民体育大会へ向け現相撲場及び周辺の改修をし、運動場のナイタ・設備改修、体育館廻りの外構整備、義名山公園長寿命化計画策定を行います。

平成26、27年度は町財政を鑑み整備を一時中止し、平成28年度以降にグラウンド及びテニスコート整備を行う予定であ

ります。

5 保育行政・国民年金行政について

「安心して子どもを預けられる環境整備」

国民年金業務は、引き続き年金事務所による年金相談会や役場窓口相談を充実させ、受給権確保の推進・年金保険料納付が難しい方への免除申請勧奨を進めていきます。

保育行政は、町の住宅整備も進み、若者の定住しやすい環境整備も整ってきました。また保育所の民営化に伴い、保育所独自のカラーを出し保護者のニーズにあった保育所運営に取り組んでいます。行政は、保育理念に基づき保護者が安心して子どもを預けられる環境作りに努めてまいります。

6 環境行政について

「世界自然遺産登録に向けて希少野生動植物の保護体制の確立」

環境課では、昨年の町制施行50周年を機に町内を花いっぱいにして心豊かで潤いのあるまちづくりをキャッチフレーズに「もてなしの花いっぱい運動」をスタートいたしました。各種団体・地域・行政の協力で沿道の空きスペースを利用し、花を植える事により「温かいもてなしの町づくり」が確立できました。今年度も引き続き、花を通じて来訪する観光客や町民が花のように美しい絆と結いの心の醸成を図り、美しい環境、明るく・住みよい町づくりを展開してまいります。

また、世界自然遺産登録に向けては、特にNPO法人徳之島虹の会が中心となり、町民や行政が一体となって盗掘防止や不法投棄の撲滅・3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取り組みを強化すると共に環境システムの構築等を促進し、循環型社会の形成を図ることが必要です。

一方、生態系の保全を図る中、徳之島三町でノイヌ・ノネコによるアマミノクロウサギ等希少野生生物への被害が危惧されているため、ねこの愛護及び管理に関する条例制定を行います。

地域温暖化の地球環境問題に対応した環境負荷再生可能エネルギーの促進も避けては通れないことから推進してまいります。

7 農林水産業の振興について

「水を生かした生産性の高い農業の確立に向けて」

昨年の台風の影響により、過去最大の農業被害額を記録したことから、早急に農業用施設の復旧・機能強化を図り、本町の農業形態の回復・再生が急がれるため、平成25年度は、次に掲げる事項を関係機関と連携を取りながら着実に実施いたします。

① 糖業振興については、生産回復を図るため適期植付・適期管理による単収向上対策と病害虫対策を実施し農家所得の

向上を図ります。

② 園芸振興については、土壌分析の徹底による適正施肥と防風対策の徹底で消費者ニーズに対応した安心・安全なパレインショを供給できる今年ブランド化された「春一番」で産地育成を図ります。また、落花生・ゴマ等の輪作を推進し、多品目栽培の確立で農家の所得向上を図ります。

③ 畜産振興については、冬場の飼料作物の導入で飼料の安定確保並びに飼養管理の徹底で商品性の向上を図ります。

④ 畑かん営農の推進については、畑かん営農推進担当職員を配置し、農政・耕地サイドがワンフロア化をすすめる融合した施策・事業の展開により、畑かん利用効果を高め農家の所得向上を図ります。

⑤ 水産振興については、離島漁業再生支援事業を活用し、藻場再生・稚魚放流事業等を実施し、持続可能な漁場の確保並びに直売所「百菜」と連携し、魚食普及を図ります。

⑥ 林務振興については、カラス・イノシシによる農作物への被害が増加傾向にあるため、集落との協働による有害鳥獣の捕獲駆除と、農作物への被害防止対策に取り組めます。

⑦ 最後に、特産品製造販売プロジェクト事業でさとうきびを原料とした加工品（黒糖・スイーツ・キビジュース等）を製造販売する施設を整備し、安定的な雇用の確保を図ります。

8 農業農村整備事業について

「徳之島農業に貢献する農業農村整備の推進」

① 持続可能な力強い農業の実現

今年度も畑地帯総合整備事業を推進し、未整備農地の区画整理・農道・排水路整備を実施し、農作業の効率化を図り、担い手農家への農地集積を進め耕作放棄地の解消を図ります。

継続地区は目手久・第1面縄1期・第1面縄2期・第2面縄1期・第2面縄2期・第2阿権・上晴・小島河地・過疎基幹農道五ラン大原地区で、平成25年度新規地区は喜念地区を実施します。

本年度以降は順次、徳之島用水の畑総事業地区内への支線水路、散水設備の事業を推進し、経済課と連携しながら畑かん営農目標を定め、水を使った付加価値の高い品目を導入するなど農業生産額50億円達成を支援してまいります。

② 農業施設の防災・減災対策

引き続き農業水利施設の定期点検を行い、将来的に耐震強化の調査・整備実施に向けた取り組みを進め、施設の防災・減災を進めてまいります。

③ 地域コミュニティを活用した農地・道水路等の保全管理

過疎化・高齢化等の進行を踏まえて集落を支える体制強化と農用地施設の維持管理を支援する目的で平成24年度から5年間、農地・水・保全管理支払交付金を導入し、受益者組織（7組織）を立ち上げて農地・農道・水路・沈砂池等の日常的な保全管理を実施し、農用地施設の長寿命化を図ってまいります。

ます。

④ 新たな土地改良長期計画の策定

平成24年度に国が策定した「食を支える水と土の再生・創造」を基本理念に地域全体としての農業生産の体質強化・防災・減災力の強化と多面的機能の発揮、集落の協働力や地域資源の潜在力を活かしたコミュニティの再生を目標に今後の長期計画を策定してまいります。

9 徴収対策について

「納期限内納付の啓発で徴収率の向上」

町政運営の根幹となる貴重な一般財源である町税の収入確保が、充実した行政サービスを行う上で重要な課題です。

納税の促進及び滞納の防止を図るため、前年度に制定した町税等の滞納に対する行政サービスの制限措置等に関する条例の運用を充実強化し、引き続き法に則した滞納処分を厳正に実施することで税収の安定確保に努めます。

併せて納期限内納付の啓発、金融機関納付・口座振替の推進等周知徹底し、新たな滞納を発生させないよう現年度分徴収率の向上と全体としての徴収率の底上げを目指します。

10 商工・観光の振興策について

「特徴ある自然や文化など価値ある資源を生かした観光施策」

商工業の振興策は、商工会組織の育成強化、運営を更に充実させるための運営補助や購買者の町外流出を抑制するプレミアム付き商品券発行事業を昨年に引き続き実施します。

また、町外流出防止と増加する一人暮らしの買い物弱者のために、Aコープの誘致活動中であり、商店街との相乗効果が期待されます。

国が推進する景気浮揚を目指した雇用の確保・経済対策のため、重点分野雇用創出事業（不法投棄撲滅アクション事業・障がい者実態調査事業・世界自然遺産登録対策事業・新規作物育苗研究事業・見守り活動支援事業）の補助事業を導入し、失業者やU・Iターン者の移住支援体制構築や雇用の確保に努めます。

観光の振興は、平成25年度の暫定リスト提出、国立公園化、世界自然遺産登録を間近に控え、奄美群島が島ごとに特徴ある自然や文化など価値ある資源を生かした観光施策の展開が急務であり自然遺産担当職員を配置します。また、アマミノクロウサギなど希少野生動植物の保護措置も課題の一つといえます。

平成25年度は、大田布岬の老朽化した休憩施設などの再整備を観光連携整備事業で進めます。夕日に輝く戦艦大和の慰霊塔、隆起した絶壁・断崖は伊仙町が誇る宝です。

徳之島なくさみ館は地域振興事業の導入で大型看板の設置、資料室のパネルや映像資料整備を進め、4月からのオープンに向け、準備を急いでいます。JALなど航空会社の旅行商

品としての闘牛ツアー誘致には、毎月の闘牛大会と島唄、八月踊りなどの開催が必要です。

空港利用促進協議会で決定した3カ町負担によるタラップ(乗降機)の購入計画では、今年度中に大島支庁地域振興事業を導入、ジェット機のスターター、タラップ等を調達し、台湾への修学旅行に充てる大手旅行会社や航空会社とも連携をとり、本土からの格安航空ジェットチャーター便を誘致、団体観光ツアー客を定着させるよう努力します。

10月6日には全国闘牛サミット大会も本町での開催され、徳之島闘牛の持つ魅力を全国に発信していきます。

11 水道事業について

「老朽管の布設替えて安心・安全な水の安定供給」

水道事業整備は、20年度から実施している西部地区簡易水道事業として崎原地区と木之香地区の配水管の新設及び老朽管の布設替えを継続していきます。現在、東大田布地区に建設中の容量200トンのステンレス製タンクも完成間近となり、給水開始に向けて最終調整を行っています。本事業により、東大田布地区と木之香地区の給水能力が十分確保され、有収率の向上や維持管理費の縮減が期待されます。

水質改善についても、表流水である杉原川と屋久田川原水、硬度の高い川束(コウソク)地下水、竿地(ソウチ)原水の比率の改善に努めてまいります。

中部・東部地区では、配水管や各浄水場の電気・機械設備等の老朽化が進み改修時期を迎えています。

短期間の設備更新は困難なため、年次的に事業規模や事業費の平準化を行い、施設の更新を進めなければなりません。

また、中部・西部浄水場の急速な過機、八重竿地区の膜ろ過施設の適正運転を行うと同時に業務の効率化やコスト削減など経営の健全化を図り、町民の皆さまへ「安心・安全な水の安定供給」に努めていきます。

12 教育行政について

「未来を担う子どもの育成」

学校教育においては、全国に通用する学力・体力を持ち、人間性豊かな人づくりが大切です。生まれ育った徳之島・伊仙町に誇りを持ち、島を愛し、他人を思いやり、向上心があふれ、農業を守り育て、観光客をもてなす人材の育成です。知・徳・体のバランスのとれた全人教育を目指してどの学校も「生きる力」を育む教育に取り組んでいます。

幼稚園と各学校においては、基礎・基本の定着に向け、個に応じた指導の徹底及び教員の指導向上による学力向上を図り、特別支援教育にも積極的に取り組みます。

幼稚園・小学校・中学校の連携を強化し、長期的視野に立った学習面・生活面の指導の下に、教員の資質向上と児童生徒

の学力向上に努めます。

具体的には、学力向上推進協議会及び東部・中部・西部地区幼小中連携部会研修会で、幼稚園・小学校・中学校と家庭・地域が一体となって学力向上・生活指導・健康保持増進等の課題について研究協議し、得られた成果を日々の教育活動に反映させていきます。

「島唄・島口・美ら島運動」を実施し、郷土の歴史・文化への関心を高め、郷土意識の醸成を図ります。また、校区住民が講師となりサトウキビやじゃがいも栽培・黒糖作りの体験をさせ、土に触れ、生産する喜びと先人に学ぶ姿勢を体得させます。このような活動をとおして故郷に自信と誇りが持てるようにし、自ら気づき・考え実行する「生きる力」の育成を図ります。

近年、心の教育を中心とした生徒指導が、重要性を増しています。いじめの早期発見、解消のために、生徒指導体制を充実させ、教職員の対生徒指導力を向上させ、本年度は「心の教育相談員」や「スクールカウンセラー」を定期的に配置して、児童・生徒が安心して過ごせる環境づくりに努めます。外国語教育は、ALTの活用により、小学校の5・6年生を中心に楽しみながら英語に親しむ授業を実施しています。また、中学校英語科授業でALTを積極的に活用し、生徒のコミュニケーション能力の育成に努めていきます。

「開かれた学校づくり」は、学校評議員制度と11月実施の「学校を見に行こう週間」を基軸に、老若男女が集える地域に根差した学校づくりを推進します。

恒例の子ども議会は、子どもの視点から見た環境問題や観光振興、地域の活性化など活発な提言がなされ、行政に積極的に反映させ政策実現しています。

幼稚園では、子育て支援の一環として引き続き、預かり保育を実施して就労支援を行っています。

学校施設整備については教育環境の整備として、教職員及び児童・生徒用パソコンを年次的に配備していきます。これにより、ICT機器を活用した授業をより一層推進します。

教職員が校区で常に子ども達と共に地域での活動ができるよう、教職員の町内居住を推進します。そのために教員住宅整備に努め、教職員の生活環境の改善を図ってまいります。

学校給食センターは、健全運営に向け、衛生管理・栄養管理をより一層充実していきます。衛生管理は、常日頃から職員の衛生知識を高め、職場研修も含め、事故が起きないような全な体制であつてまいります。

特に栄養管理は食育の観点から保護者の協力を求め、具体的な方策を示し、各小中学校の取り組みに則しながら栄養教諭を派遣し、成長期の子どもの栄養指導を重視し、強力に進めてまいります。

また、地産地消を進める上で何よりも地場産野菜の利活用ができるよう、直売所「百菜」とも連携を図ります。

さらに、徳之島産の野菜はカルシウム・マグネシウム等の含有量が多く栄養価が高いとの調査結果が出ており、良質な野菜の確保に努めてまいります。

13 社会教育行政について

「生涯学習の推進・歴史民俗資料館の充実」

「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり、文化づくり」をすすめるために、生涯学習の観点に立つて人間性豊かでたくましく生きる町民の育成と教育・文化・スポーツの振興を目指すと共に、地域の連帯性の醸成と自治意識の高揚を図ります。

そのため、関係機関と連携を深め、人材の養成と確保に努め、町民が生涯を通じて自主的学習の機会が得られるよう公民館講座を充実させ、公民館施設や図書室の積極的な利用を促進し、いつでも・どこでも・だれでも学習できる支援体制作りを努めます。

成人教育は、PTA連絡協議会や地域女性連など、社会教育団体がより活動できるよう支援します。

青少年教育は、いせんの良き(自然・文化・人材)を活かした体験活動、または異年齢間・地域間の交流活動の充実に向けて取り組みます。

文化財関係は、歴史民俗資料館を充実させ、地域の歴史・文化財を総合的に整理し、有効活用するために「歴史文化基本構想及び保存計画」の策定を重点的に進めていきます。

社会体育関係につきましては、町民のスポーツ活動の拠点となる総合体育館や総合グラウンド及び町内の各小学校等の体育施設を積極的に開放して、町民の健康づくりやスポーツ少年団・各スポーツ団体の活動を支援していきます。

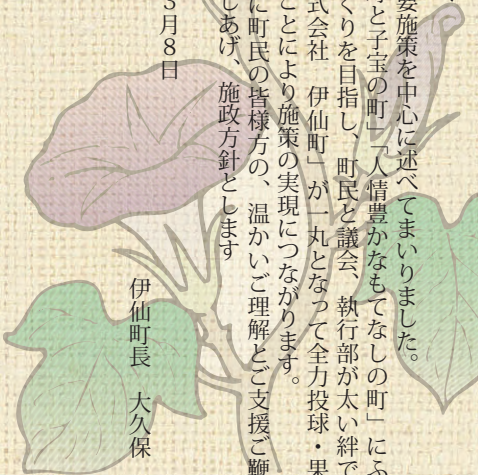
おわりに

以上、主要施策を中心に述べてまいりました。

「健康・長寿と子宝の町」「人情豊かなもてなしの町」にふさわしい町づくりを目指し、町民を議会、執行部が太い絆で結ばれた「株式会社 伊仙町」が「丸」となって全力投球・果敢に挑戦することにより施策の実現につながります。町議会並びに町民の皆様方の、温かいご理解とご支援・鞭撻をお願い申しあげ、施政方針とします。

平成25年3月8日

伊仙町長 大久保 明



第46回 戦艦大和を旗艦とする 特攻艦隊戦没将士慰霊祭

4月7日(日)、午後1時半から第46回戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦没将士慰霊祭が犬田布岬でしめやかに行われました。

今年は、低気圧の影響で風が強く慰霊塔前での式典が困難なため、急きょ三崎神社鳥居前での式典となり御遺族をはじめ御来賓・徳之島3町長・町関係者ら約130名が参列いたしました。

式に先立って、西犬田布婦人会による鎮魂の舞(ああ犬田布岬)で慰霊祭が始まり、隊友会長 正友哉さんによる祭文奏上、遺族会代表 高山友二さんによる遺族代表あいさつ、三町長による慰霊のことばが述べられたのち、戦艦大和が沈没したとされる時刻に合せ14時23分、参列者全員による黙祷が奉げられ3,728柱の御霊の冥福をお祈りいたしました。

式典の合間には、天城中学校吹奏学部による慰霊演奏が奏でられ、式典に花を添えていただきました。

最後に、多くの尊い人命のおかげで現在の日本の平和があります。

これからも、私たちは世界平和を願い、戦争の悲惨さを後世に伝えるためにも、戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦没将士慰霊祭を今後も続けてまいります。



新しい第一歩！ 伊仙町立小中学校入学式



平成25年4月8日(月)伊仙町立小中学校で入学式が行われ、新小学校一年生74名(町全体)、新中学一年生65名(町全体)が、新たな第一歩をスタートさせました。

みなさん、真新しい制服に身を通され、やや緊張された面持ちで、これからの学校生活への期待や希望を胸いっぱい式典へ望まれておりました。

新一年生のみなさん、おめでとうございます。



新校舎落成記念
平成二十二年十一月

「ダイエットアイランドシンポジウムが 開催されました！」

去る平成25年2月24日(日)徳之島交流ひろばほーらい館ホールにおいて、「徳之島ダイエットアイランドシンポジウム ～長寿の島からダイエットの島へ～」が開催され、町内外から集まった聴衆の方々が、熱心に各パネラーの講話に聞き入っていました。

イントロダクションとして「なぜ今徳之島でダイエットか？」の話を伊賀の里モクモク手づくりファームの木村社長と吉田専務、「米国ダイエットシティ体験談」をグラノ24Kの小役丸敏幸氏、「本物の長寿を取り戻すために」というパネルディスカッションを、大久保伊仙町長始め5人のパネラーに詳細なデータと共に語って頂きました。来場者からは

●町の垣根を取り、徳之島として一体的に取り組む必要がある

●貴重な企画を長続きできるようお願いします

●「ダイエットアイランド」について知っている島民が少ない。もっと広報と各機関の連携を

など貴重なご意見を頂きました。詳細なデータも記載した成果報告書は、経済課にありますので、どなたでもお持ち帰り下さい。なおこのシンポジウムは全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施されました。



「ダイエットアイランドツアーが行われました！！」

平成25年3月5日～11日まで、「徳之島ダイエットアイランド構想」に基づいて「徳之島ダイエットアイランドツアー」が実施されました。短期間の募集だったにもかかわらず、北は仙台から南は徳之島まで、33名の申込みを頂き、最終的に22名の参加となりました。

最高齢は80歳のご夫婦で、他にもいくつかの持病を抱えていらっしゃる方の参加もあり、医療関係者、徳之島交流広場ほーらい館、直売所百菜、管理栄養士、宿泊事業者、そして行政関係者が一体となり、全ての人が満足行くよう、細心の注意を払いツアーを無事終了することが出来ました。

数年後に世界自然遺産登録を控えた徳之島の最大の魅力、資源は、温かい人の心であり、今後様々な趣旨での島外からのツアーを企画する際には、地域の人達とどのような場面で触れ合えるか、共に作業することが出来るかを考えて、組み込むことが重要であることが分かりました。

「これから先の人生に大いに参考になった。この1週間心の洗濯、心のダイエットができて素晴らしい日々をすごせた。素晴らしい体験ができ感謝。」

このような島外者の声を聞けるように、またこれからも「長寿・子宝」の看板を絶やすことのないように、町全体、徳之島全体で事業に取り組んで行きましょう。



虫歯0だよ！歯は大 事！平成24年度歯の 表彰

伊仙町では、毎年5歳までむし歯がなかったお子さんへ歯科優良者の表彰を行っています。

平成24年度は、平成25年3月22日（金）に、ほーらい館において24名のお子さんが授与されました。

伊仙町の歯科優良者は、年々増加しております。みなさんもお口の中から健康を見直してみませんか？（伊仙町では7月に特定健診において、歯科検診を実施しております。）



へき地保育所 合同・卒園式・ 入園式開催

3月25日（月）町内5ヶ所の保育所合同で、平成24年度へき地保育所卒園式が行われました。23名の園児の皆さんが卒園されました。幼稚園に入園しても元氣よく頑張ってほしいと思います。

また、4月3日（水）平成25年度・合同入園式が行われました。69名の園児の皆さんが入園されました。

お祝いの言葉に続き保育士の紹介があり、園児呼では、新園児たちが、名前を呼ばれると大きな声で返事をしていました。これから伊仙町を担っていく子どもたちが頼もしく映りました。



伊 仙町空き家バンク会員登録の募集

長寿と子宝の町、自然と歴史が豊かなわが町に定住をお考えの皆様
に、空き家情報をご案内するため、平成24年度より「伊仙町空き家
バンク制度要綱」を制定し、伊仙町内に存在する空き家等の登録及び
利用希望登録者に対し、情報提供を行っております。

現在までに5軒の登録があり、うち3軒を「町公式サイト」に掲載
したところ、2軒が成約済となりました。

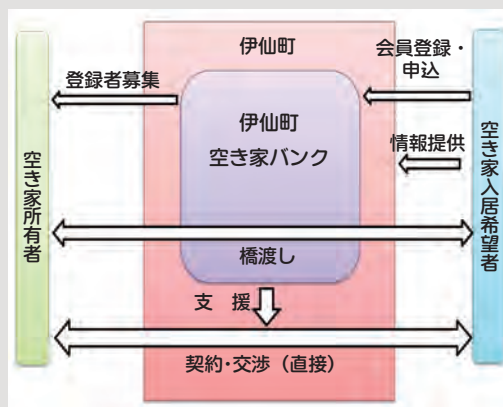
しかしながら登録軒数が少ないため、空き家の問い合わせすべてに
対応できておりません。

そこで、空き家を「貸したい方」「借りたい方」を募集いたします。
貸主及び入居希望者の登録を求めるとともに、「近くに空き家がある」
等の情報を集めています。(空き家に関して、どんな些細なことでも
構いませんので、役場企画課に御一報下さい。)

会員登録を希望される方は、企画課に直接お越しいただくか、町公
式サイトのくらし情報・申請書類ダウンロードをクリックして、様式
をお取り寄せ、必要事項をご記入のうえ、当課まで提出して下さい。

詳しくは、企画課・0997-86-3111(内25)までお問い合わせ下さい。

＜空き家バンク制度の説明図＞



がんの予防・診療の 最前線

日 時 平成25年 **5月25日(土)**
午後1時開会～午後4時終了

会 場 **徳之島町文化会館**

対 象 一般市民、がん患者、
がん経験者および家族

定 員 **600名**

当日は **伊仙町 犬田布 天城町 平土野** より送迎バスの運行を予定
しております。

主 催 一般社団法人 日本癌治療学会

後 援 厚生労働省、日本対がん協会
NHK鹿児島放送局、鹿児島放送、南日本新聞
南海日日新聞、奄美新聞、鹿児島県医師会
大島郡医師会、徳之島町、天城町、伊仙町

第7回日本癌治療学会 市民公開講座

**参加
無料**



弓道を始めませんか

伊仙町弓道連盟では、旧農業高校弓道場にて練習を頑張っています。興味のある方は初歩から一緒に指導もいたしますので、ぜひ弓道場をのぞいて下さい。

問い合わせ先

勤務先 伊仙町役場 穂 浩一／0997-86-3111（内線36）

徳

之島不法投棄・希少動植物盗掘防止対策会議 並びに三町合同パトロールを行いました！

2月28日（木）、徳之島防犯協会の呼びかけで、徳之島不法投棄・希少動植物盗掘防止対策会議並びに三町合同パトロールを行いました。

まず、徳之島警察署会議室で防止対策会議が行われ、三町行政代表や自然保護関係団体等から不法投棄や植物盗掘の現状について、状況報告がありました。

その後、三町に分かれてパトロールを行い、伊仙町ではゴミ不法投棄場所の現状について役場環境課から説明がありました。さらに、NPO 法人徳之島虹の会より「この場所は希少野生植物が多く生息し、25年度に国立公園指定となるので、ゴミを捨てるのはやめてほしい。」との注意もありました。

なお、防犯協会事務局ではこのような取組を今後も年1～2回開き、巡視活動を強化していきたいとの事です。

山林、河川、道路、公園、民有地などにみだりに廃棄物を捨てることは、法律で禁止されています。不法投棄は犯罪であり、5年以下の懲役又は1,000万円以下の罰金またはその両方が科せられます。

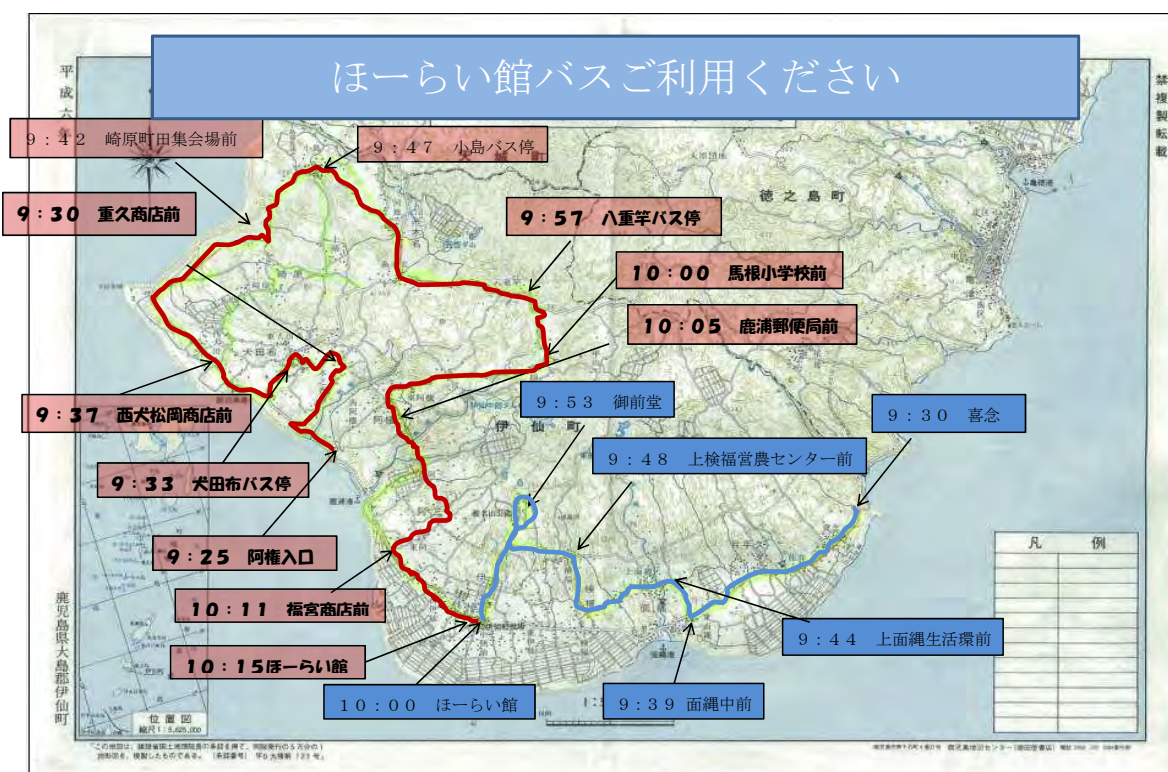
「伊仙町希少野生動植物の保護に関する条例」

- 条例の規定に違反して、指定希少野生動植物の捕獲、採取等を行うなどの違法行為を行った場合は、罰則が科されることになります。（最高で1年以下の懲役又は50万円以下の罰金）

※不法投棄・植物盗掘ともに「犯罪」です。「奄美・琉球」が世界自然遺産暫定リスト入りし、徳之島が全世界から注目されている今、住民のモラルが問われます。

「世界に誇れるこの豊かな自然」を後世に残していくためにもこれらの行為は絶対にやめましょう！





<伊仙町保健センターよりお知らせ>

★平成25年 伊仙町健康診査申込み受付中です！

※未申込みの方は、保健センター（86－2124）までご連絡下さい。

～新学期、新社会人がスタートしました！～

★1日の始まり「朝ごはん」はしっかり食べていますか？

チャレンジ！朝ごはん 野菜オムレツ



<材料>～2人分～

- 卵……………2個
- 牛乳……………大さじ2
- 塩麹……………10ml
- しらす干し……………大さじ2
- えのきたけ…1袋(70g)
- 人参……………小1本(70g)
- あおさ……………15g
- ミニトマト…8個(80g)
- オリーブ油……………小さじ2

<作り方>

1. 人参は千切りにし、ミニトマトは縦半分に切る。しらす干しはさっと湯通し、えのきたけは食べやすい大きさに切る。
2. フライパンにオリーブ油を入れて熱し、えのきたけを軽く炒める。
3. 2. の上に人参、アオサ、ミニトマトを重ねる。
4. Aを混ぜ合わせ、野菜の上からまわしかける。
5. しらす干しをのせ、弱火にし、フライパンに蓋をして蒸し焼きにする。(減塩レシピ集より)

1人あたり(栄養価)

カロリー(kcal)	たんぱく質(g)	脂質(g)	炭水化物(g)
180.9	11.9	10.2	12.2
食物繊維(g)	塩分(g)	カルシウム(mg)	鉄分(mg)
3.9	1.4	123.4	4.2

「朝ごはん」は1日のパワーの源！

寝ている間に低下した体温を上昇させ、心と体のウォーミングアップをしてくれます♪目覚めと共に食事を摂ると、体のエンジンもかかって、勉強や仕事の効率もUPします。

今回は、手軽に出来る朝ごはんのレシピを1品ご紹介します。この1品で野菜もたっぷりとれます♪

子宝ねっと・いせん



「子宝ねっと・いせん」は、伊仙町の子育て支援のシステムです。子育て支援をテーマに、子供に関する健康情報（健診データ、身体測定結果、予防接種の記録など）をデータベースに蓄積したものに、保護者ご自身で子供の成長記録を作成したり、保育園・幼稚園・小学校・中学校・保健センター・などからのお知らせや案内をメールで受信したりできる無料のサービス（携帯や自宅PCでの通信費などは自己負担）です。



まだ未登録の方、新規に登録されたい方は、関連する保育所・幼稚園や学校にお問い合わせいただくか、下記までご連絡ください。
子宝ねっと・いせん事務局（伊仙町企画課）86-3111



奄美海上保安部からのお知らせ

これからマリンレジャーが盛んになる季節です。海にお出かけの前には「命を守る3つの基本」を再度確認して、マリンレジャーを楽しみましょう！

安全推進等活動重点期間

GW 期間4月27日（土）～5月 6日（月）

夏季期間7月 1日（月）～8月31日（土）

命を守る3つの基本



ライフジャケットの
常時着用



通信手段の確保
（防水携帯電話など）



海のもしものは
「118」番

お問い合わせ先：奄美海上保安部 0997-52-5811

広報の広場

国民年金保険料の口座振替・前納制度のご案内

国民年金加入者の皆様に、口座振替により保険料を納めていただいた場合の「便利」で「おトク」な情報をお知らせします。

便利 口座振替により保険料を納めていただくと、

- ◆ 自動引き落としで納め忘れの心配がありません。
- ◆ 金融機関等へ行く手間と時間が省けます。



さらに!!

お得 前納制度をご利用いただくと、

- ◆ 現金で月々保険料を納付した場合に比べ、割引になり大変おトクです。

☆☆ お申し込み方法 ☆☆

- 口座振替申出書に必要な事項を記入・押印(金融機関の届出印)し、お近くの年金事務所の窓口にお申し込みされるか、ご郵送ください。
また、金融機関窓口にご提出いただいても結構です。
- 前納のお申し込みは、
 - ① 1年度分及び上期6ヶ月分(4月分～9月分)は2月末
 - ② 下期6ヶ月分(10月分～翌年3月分)は8月末までに、お近くの年金事務所にお申し込みください。

特集～伊仙町の伝統文化～

第6回
伊仙町さかな方言名

伊仙町で昔から食べられている
さかなには方言名がついていま
す。今回は面縄と阿三出身者に
聞き取り調査をした魚の方言名
について掲載します。

あなたはいくつわかりますか？

※さかなの方言名は集落によって
違いがあります。他に呼び名があ
る場合はお知らせください。



ウビアヤ 和名あかはた
体長 40 cmほど



ウズイ 和名にせこいしうつほ
体長 180 cmほど



シワスビ 和名おじろぼらはた
体長 50 cmほど



スビイ 和名くろほしふえだい
体長 50 cmほど



ネイバリ 和名しろぶちはた
体長 50 cmほど



ネイバリ 和名まだらはた
体長 50 cmほど



アバサー 和名ひとずらはりせんぽん
体長 55 cmほど



スビイ 和名いつてんふえだい
体長 40 cmほど
シガテラ中毒注意



フィー 和名よすじふえだい
体長 40 cmほど



アーナ 和名ばらふえだい
体長 60 cmほど
シガテラ毒注意



ミャン 和名はなあいご
体長 35 cmほど



クサビ 和名やまぶきべら
体長 25 cmほど



カタスイ 和名もんつきあかひめじ
体長 20 cmほど



ダグバチ 和名なんようふだい
体長 80 cmほど



ホタ 和名あおだい
体長 50 cmほど



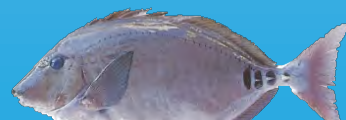
アカウルメ 和名たかさこ
体長 30 cmほど



ズイーランヤツチャ 和名ごまもんがら
体長 50 cmほど



ズージロ 和名くろもんがら
体長 17 cmほど



サンノジ 和名にさだい
体長 50 cmほど



ノーイユー 和名ねったいみのかさこ
体長 20 cmほど



マンガリヤ 和名てんじくいきき
体長 60 cmほど



アヤヤツチャ 和名もんがらかわはぎ
体長 30 cmほど



カタヒラウエンニヤ 和名みなみうしのした
体長 15 cmほど



アワ 和名おにだるまおこせ
体長 25 cmほど



アーマツイ 和名はまだい
体長 70 cmほど



ツィヌマル 和名てんぐはぎ
体長 50 cmほど



クワーガレイー 和名ことひき
体長 30 cmほど



アギグル 和名おおぐちはまだい
体長 60 cmほど



アオマツイ 和名あおちき
体長 70 cmほど



カマジ 和名ろうに入あじ
体長 150 cmほど

お問い合わせ
伊仙町歴史民俗資料館
0997-86-4183

参考文献
沖縄海中生物図鑑第1巻～3巻(新屋図書出版, 1987)
Fisher's paradise Okinawa—魚と釣りの百科(新屋図書出版, 1991)
参考ウェブサイト
WE B 魚図鑑

方言協力者
伊藤正吉(面縄集落)、中井恵次郎(阿三集落)

子宝日本一の町 わが町のアイドル



上木 悠愛 (うえき ゆめ)
(2歳2カ月)
上木 梨々華 (うえき りりか)
(7カ月)
いつも にこにこ笑顔をありがとう★
二人なかよくささえあって育ってね。



幸多 玄暉 (こうた げんき)
(1歳10カ月)
“いつも元気いっぱい玄暉くん”
パパに負けないくらい大きく元気に育ってね。

わが町のアイドル募集！

本紙では「わが町のアイドル」と題して、わが家のかわいい子どもの写真を掲載します。

毎月10日までに住所・氏名(子どもと保護者)・電話番号・簡単なPR文を添えて、写真を役場企画課広報係までお持ち下さい。

問い合わせ先 伊仙町役場企画課 86-3111 (内24)

人口の動き

(25年3月31日現在)

総人口=7,065	出生=7
男 =3,523	死亡=11
女 =3,542	転入=45
世帯=3,563	転出=93

戸籍の窓

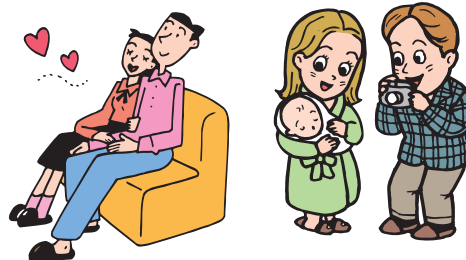
お誕生おめでとう (敬称略)

出生児

保護者

集落名

ご結婚おめでとう (敬称略)



伊仙 清水	伊仙 悠次郎さん	(亡)大山 まつさん	より金一封
伊仙 文元	伊仙 辰彦さん	(亡)徳 カマさん	より金一封
伊仙 加賀美	伊仙 おとみさん	(亡)義山 秀夫さん	より金一封
伊仙 福山	伊仙 利子さん	(亡)加賀美 山典良さん	より金一封
伊仙 文元	伊仙 博明さん	(亡)福山 トミさん	より金一封
伊仙 守文	伊仙 郭夫さん	(亡)文元 としさん	より金一封
伊仙 米守	伊仙 文代さん	(亡)吉谷 やすさん	より金一封
伊仙 清水	伊仙 寿賀子さん	(亡)米 キヨさん	より金一封
伊仙 清水	伊仙 ヨシさん	(亡)清水 彦治さん	より金一封

香典返し

※社会福祉協議会受付

文元 豊	伊仙 伊仙	(西川 浩志)	阿三
紀乃 亜紀子	伊仙 亀津	(中熊 優介)	伊仙
大倉 一真	伊仙 母間	(松田 美幸)	伊仙
大重 あゆみ	伊仙 楓福	(松田 美幸)	伊仙
大倉 一真	伊仙 母間	(松田 美幸)	伊仙
大重 あゆみ	伊仙 母間	(松田 美幸)	伊仙
大倉 一真	伊仙 母間	(松田 美幸)	伊仙
大重 あゆみ	伊仙 母間	(松田 美幸)	伊仙
大倉 一真	伊仙 母間	(松田 美幸)	伊仙
大重 あゆみ	伊仙 母間	(松田 美幸)	伊仙